



ミニディスクロージャー誌

2018年3月期
営業の中間ご報告

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**α**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、

“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”

“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”

そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



LINE@ 京葉銀行 公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね！

楽しいコンテンツやLINE限定の特典も！

LINEアプリで公式アカウントを検索

京葉銀行

またはLINEアプリの
QRコードリーダーで！



京葉銀行

本店 〒260-0015
千葉市中央区富士見1-11-11
千葉みなと本部 〒260-0026
千葉市中央区千葉港5-45
TEL. 043(306)2121
<http://www.keiyobank.co.jp>

2017年11月発行



京葉銀行

お客さまに信頼と利便性、
高い満足度を提供する魅力のある、
活力あふれる銀行を目指して

Contents

トップメッセージ／第17次中期経営計画	3
地域活性化へ向けて	5
将来を見据えて	9
地域社会のために	11
2017年9月期 業績のご報告(単体)	13
財務諸表(単体)	15
株主の皆さまへ	16
株式情報・役員	17
店舗地図	18

当行のプロフィール

名 称／株式会社京葉銀行
英文名称／The Keiyo Bank, Ltd.
設 立／1943年3月31日
資 本 金／497億円
本 店／千葉市中央区富士見1丁目11番11号
拠 点 数／283ヵ所
 本支店：119 出張所：2
 店舗外ATMコーナー：162

従 業 員／2,148名
総 資 産／4兆7,530億円
預 金／4兆3,876億円
貸 出 金／3兆3,517億円
自己資本比率／単体 11.21%
 連結 11.24%
格 付／A- (S&Pグローバル・レーティング)
 A+ (株式会社日本格付研究所)

(2017年9月30日現在)

トップメッセージ



取締役頭取 熊谷俊行

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

日本経済は、輸出・生産面で持ち直しの動きがみられるほか、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も底堅く推移しています。また、当行の経営基盤である千葉県経済も、雇用情勢は堅調に推移しており、企業倒産件数についても低い水準で抑えられているなど、緩やかな回復基調が続きました。

一方、低金利環境や少子高齢化、またテクノロジーの進化など、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような環境下で、当行は第17次中期経営計画「α ACTION PLAN 2018」の最終年度を迎えています。副題として掲げた『変革と実行』のもと、3つの経営課題に

取り組むことで、社会の変化に着実に対応し、当行の持続的な成長の実現に向けて、グループ一丸となって努力を続けてまいります。

地域活性化への積極的な貢献

当行は、創業以来、「地域への貢献」、「堅実な経営」という理念のもと、「お客さま目線」での業務運営を第一に、今日まで地域とともに歩んでまいりました。

これからも、地域のお客さまに寄り添い、地元千葉県とともにさらなる成長、発展を遂げていくために、法人のお客さまには、引き続き経営者との対話を通じて信頼を構築し、課題を共有することで、お客さまの企業価値向上へとつながるよう、最適なソリューションを提供してまいります。また、個人のお客さまには、フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）の精神に則り、今年6月に策定した「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を、行内でも周知徹底することで、多様化するニーズに応え、お客さまの安定的な資産形成の実現に向けて、より質の高いコンサルティングを提供してまいります。

将来を見据えた経営基盤の構築

当行は、取り巻く環境の変化に、しっかりと対応し、将来を見据えて経営基盤を構築してまいります。

少子高齢化が進むなか、資産形成や相続、事業承継等の様々なニーズに応じて、お客さまにとって真に利益となるサービスや商品の提供に努めてまいります。

また、IT化の急速な進展にも的確に対応するため、お客さまが、いつでも、どこでも、便利で安心、快適なサービスをご利用できる「オムニチャネル化」に向け、対面チャネルでは、ITを活用した「次世代型店舗」の取り組みにより、来店時の手続き負担を軽減し、お客さまとの接点を拡大することで、より質の高いコンサルティングの提供に努めてまいります。非対面チャネルでは、アプリの活用や、ネット証券等の他業種との提携等、お客さまの利便性と満足度を高めるため、より一層の充実を図ってまいります。

さらに、今後、生産年齢人口の減少が見込まれるなか、働きやすく、かつ職員が自ら学び、

成長していけるよう、「人財」の育成や「働き方改革」を進めることで、生産性向上に取り組んでまいります。

経営管理態勢の高度化

当行がお客さまの信頼に応え続けていくためにも、法令及び企業倫理の遵守を徹底するべく、コンプライアンスに対する意識啓発に努め、経営を取り巻く各種のリスクに適切に対処してまいります。また、CSR（企業の社会的責任）を意識した経営の実践により、持続的な成長とともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

こうした取り組みを通じて、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループの役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月

第17次中期経営計画 期間 3年間(2015年度～2017年度)

α ACTION PLAN 2018 ～持続的成長へ向けた「変革と実行」～

目指す
銀行像

お客さまに信頼と利便性、
高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

3つの
経営課題

- 1 地域活性化への積極的な貢献
- 2 将来を見据えた経営基盤の構築
- 3 経営管理態勢の高度化

計数目標

2018年3月期

当期純利益	自己資本比率	OHR	預金残高	貸出金残高
140億円	12%程度	65%程度	4.4兆円程度	3.4兆円程度

※当期純利益、OHRについては2016年5月11日に目標の見直しを行っています。

地域活性化へ向けて

「お客さま目線」での業務運営を第一に、地域密着型金融の推進を通じ、地域活性化に積極的に貢献しています。

アルファバンクの後継者塾の開講

地域経済を担う中小企業の10年後、20年後の成長・発展のため、円滑な事業承継をサポートする一環として、後継者塾を開講しています。2017年10月より第2期をスタートし、1泊2日の宿泊研修を新設するなど、異業種間のネットワークづくり等も後押ししています。



第1期参加者の声

- 業界は違っても、ともに事業承継に直面している同じ境遇の仲間ができたことは、大きな財産になりました。
- 自分なりの考えをまとめ、その考えを社員に伝えるためのスキルを身に着けるにあたって、とても勉強になりました。



千葉大学との 産学連携プロジェクトの開始

2017年7月、千葉大学環境ISO学生委員会と協同し、地元企業への「エコアクション21」取得コンサルティング等の取り組みを通じて、地域活性化と環境に貢献するプロジェクトを開始しました。

創業相談会の開催

創業予定、または創業して間もない方を対象に、「創業個別相談会」を開催しています。お客さまが抱える疑問や悩みを解消し、経営支援を行います。



「観光による集客強化」 セミナーの開催

2017年10月、株式会社H.I.Sとあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が共同開催する「千葉県エリア『観光による集客強化』セミナー」を後援しました。当行と連携し、古民家を核とした観光による町おこしを進めている香取市もパネラーとして出席しました。





住宅ローン特典 フリーローン

当行で住宅ローンをご利用中の方
限定のローンです。

住宅ローンご利用者向けに 2つの特典ローンの取り扱い開始

お客さまのライフプランを応援できるよう、新規に住宅ローンをお借り入れのお客さま向けに、「申し込み者用借換えローン」、住宅ローンをご利用中のお客さま向けに、低金利の「特典フリーローン」の取り扱いを開始しました。

※お申し込みに際しては、当行所定の審査がございます。
※くわしくはお近くの営業店、もしくはホームページにてご確認ください。
(2017年10月31日現在)

フィデューシャリー・デューティー (顧客本位の業務運営)への 取り組み

お客さまの安定的な資産形成の実現に向けて、2017年6月に策定した「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を周知徹底し、より質の高いコンサルティングの提供に努めてまいります。



平成29年10月より
つみたてNISA
受付開始!!



投資は未経験…、何かちょっと不安…、
そんな方々にこそ必見の制度です!!

お客さまの安定した 資産形成をサポート

2017年10月より、2018年1月に開始される「つみたてNISA」口座開設のお申し込み受付を開始しました。お客さまの多様なニーズにお応えし、「長期・積立・分散投資」で資産形成のお役に立てるよう、商品・サービスのラインアップをより一層充実させていきます。

各種相談会・セミナーの開催

・年金相談会

セカンドライフ設計の要となる年金に関するさまざまなご相談にお応えするため、社会保険労務士による個別年金相談会を開催しています。

平日にご参加いただけないお客さまのための「休日年金相談会」や、会社帰りにご参加いただけるよう「イブニング年金相談会」もご用意しています。

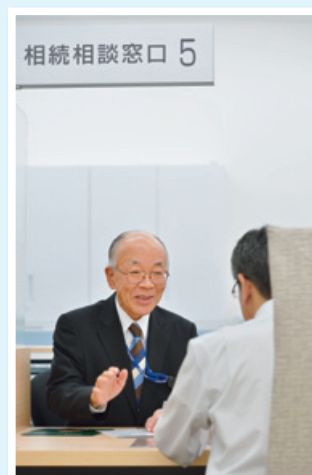
・ミニセミナー

「資産運用」、「医療・がん」、「NISA」、「相続・遺言」などをテーマに、営業店のセミナールームなどを利用したミニセミナーを開催し、最新の有益な情報をお客さまへ提供しています。



・相続相談窓口

“気軽に相続のことを相談したい”という声にお応えし、相続に関する悩みや心配事を、専門の相談員に何でも相談できる「相続相談窓口」を設置しています。
(設置店舗は、一定期間ごとに移動します)



将来を見据えて

少子高齢化やIT化等の環境変化に的確に対応するため、「オムニチャネル化」の推進や、「働き方改革」に取り組んでいます。

「次世代型店舗」への取り組み

利便性のみならず、質の高いコンサルティングを提供すべく、「次世代型店舗」への取り組みを進めています。

モデル店舗である中山支店で認証ボックスを利用した「印鑑レス」取引を拡大するなど、ITを活用してお客さまの手続き負担を軽減し、ゆっくりとご相談いただける環境を提供してまいります。



各種決済サービスとの連携拡大

「LINE Pay」、「Yahoo!ウォレット」、「楽天Edy」との連携により、即時チャージのご利用が可能となりました。スマートフォン等を利用した“手軽で、素早い”決済機能をご利用いただけます。

京葉銀行 × SBI証券

京葉銀行とSBI証券が業務提携いたしました！

おトクな手数料と豊富な商品ラインナップのSBI証券で資産運用始めてみませんか？

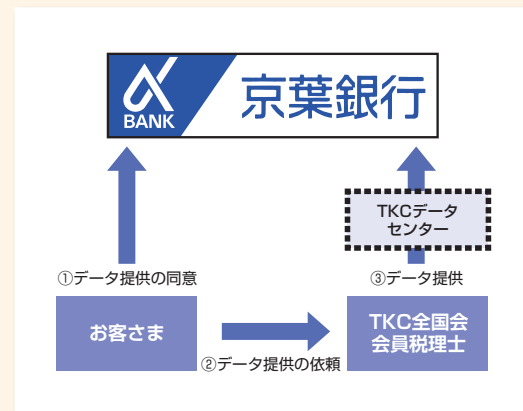
証券口座開設料・管理料 **無料**

ネット証券会社との提携

2017年10月より、ネット証券最大手の株式会社SBI証券と提携し、金融商品仲介業サービスを開始しました。インターネットを通じて、お客さまのニーズに沿った多種多様な金融商品をお手軽にご利用いただけます。

フィンテックを活用した融資判断の迅速化

2017年8月より、株式会社TKCが提供するモニタリング情報サービスの取り扱い開始により、TKCの会計ソフトをご利用のお客さまの決算書等を、当行がインターネット上で取得可能となり、お客さまの手続き負担が軽減し、迅速な資金調達ができるようになりました。



当行アプリへ資産管理サービスの導入

2017年10月、マネーツリー株式会社と提携し、API (Application Programming Interface) 連携によって安全にお客さまの銀行口座やクレジットカード等の取引履歴を一元管理できる資産管理サービス「一生通帳 by Moneytree」を当行アプリに導入しました。

「働き方改革」への取り組み

さまざまな価値観を持った多様な「人財」が、前向きに仕事に取り組み、成長していけるよう職場環境を整えています。

2017年6月には県内金融機関で初めて「プラチナくるみん」を取得し、10月には「イクボス宣言」を行いました。



イクボス宣言式

地域社会のために

地域社会の発展に貢献し、お客さまから信頼される銀行となるために、さまざまな「地域貢献・社会貢献活動」を展開しています。

子ども参観日 「αバンク体験ツアー」の開催

2017年8月、金融教育の取り組みの一環として、地域の小学生を対象に、銀行業務を体験してもらえる「αバンク体験ツアー」を開催しました。



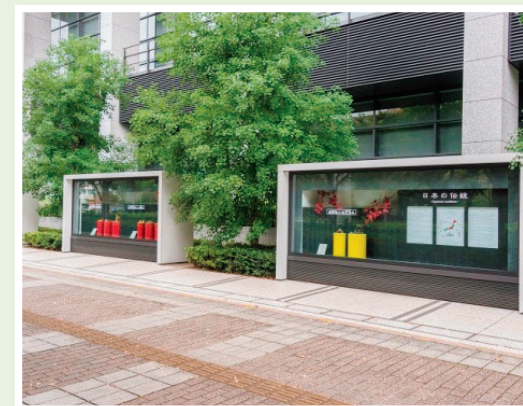
若い芽のαコンサートへの協賛

1989年より、将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的として、(公財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のαコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛しています。

ショーウィンドーギャラリーの展開

本店および千葉みなと本部にショーウィンドーギャラリーを設置し、日本の伝統工芸品を紹介しています。

2017年10月から12月は、『秋を感じる』をテーマに展開しています。



各種情報誌の発刊

産学連携情報誌「Mira-Kuru」や、「健康で心豊かな暮らし」を提案する情報誌「きずな」、千葉の魅力をお伝えする小冊子「道で発見!ちば」シリーズの発刊を通じて、お客さまの生活や地域を充実させる情報を発信しています。



新たなプロモーションの展開

2017年7月から、当行のイメージキャラクターに千葉県出身の俳優伊藤淳史さんを起用して、新たなプロモーションを展開しています。

現在、関東ローカル局にてテレビCMを放映中です。

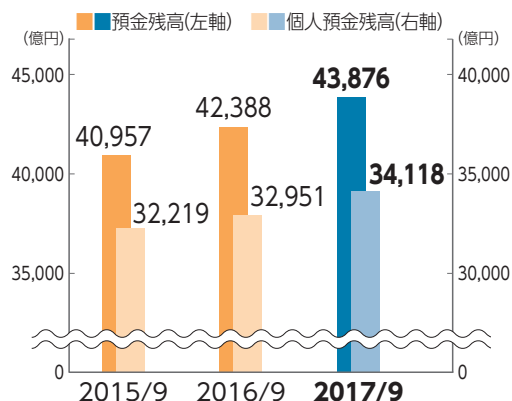
2017年9月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。

また、収益面では、経常利益は前年同期比10億20百万円減少し、91億53百万円、中間純利益は前年同期比4億12百万円減少し、62億87百万円となりました。

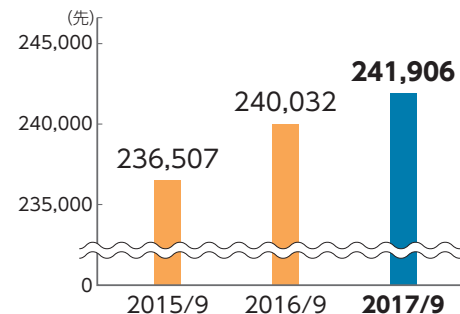
■預金残高・個人預金残高

4兆3,876億円
(年間増加率3.5%)

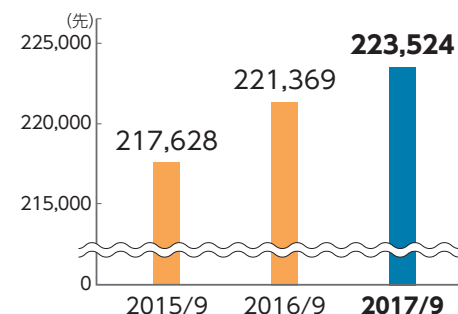
給与振込や年金振込の取引拡大等により預金残高は、前年同期比1,488億円増加し、4兆3,876億円（年間増加率3.5%）となり、個人預金残高は前年同期比1,166億円増加し、3兆4,118億円（年間増加率3.5%）となりました。



■給与振込指定先数



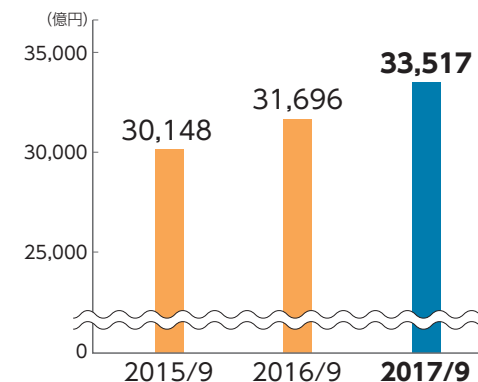
■年金受取指定先数



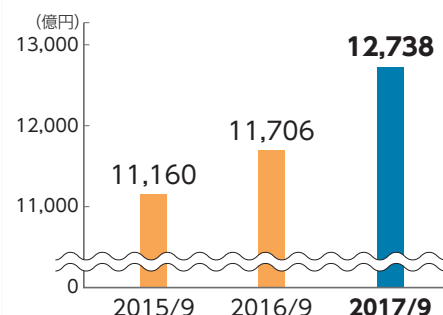
■貸出金残高

3兆3,517億円
(年間増加率5.7%)

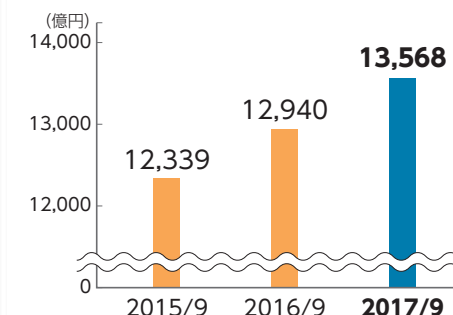
中小企業向けや、住宅ローンを中心とする個人向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前年同期比1,821億円増加し、3兆3,517億円（年間増加率5.7%）となりました。



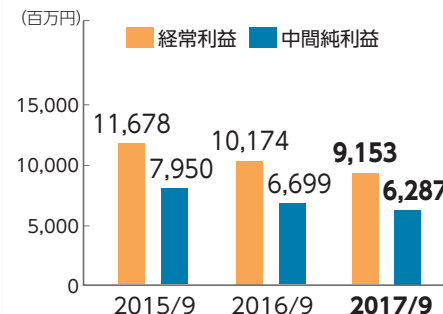
■中小企業向け貸出金残高



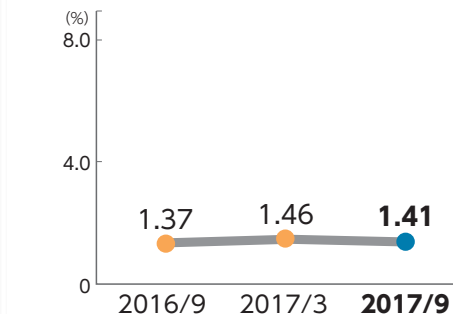
■住宅ローン残高



■経常利益・中間純利益



■不良債権比率（金融再生法基準）



■ 中間貸借対照表

（単位：百万円）

	第110期 (2015年9月30日現在)	第111期 (2016年9月30日現在)	第112期 (2017年9月30日現在)
資産の部	4,507,334	4,618,994	4,753,096
うち貸出金	3,014,854	3,169,633	3,351,748
うち有価証券	996,936	1,022,171	969,428
資産の部合計	4,507,334	4,618,994	4,753,096
負債の部	4,238,690	4,336,523	4,463,961
うち預金	4,095,738	4,238,820	4,387,654
純資産の部	268,644	282,471	289,135
うち株主資本合計	220,817	230,922	239,342
負債及び純資産の部合計	4,507,334	4,618,994	4,753,096

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 中間損益計算書

（単位：百万円）

	第110期 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	第111期 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	第112期 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
経常収益	35,021	34,037	32,612
うち資金運用収益	27,313	25,737	25,002
うち役務取引等収益	5,217	4,920	4,972
経常費用	23,342	23,863	23,458
経常利益	11,678	10,174	9,153
特別損益	△11	△426	△153
法人税等合計	3,716	3,048	2,713
中間純利益	7,950	6,699	6,287

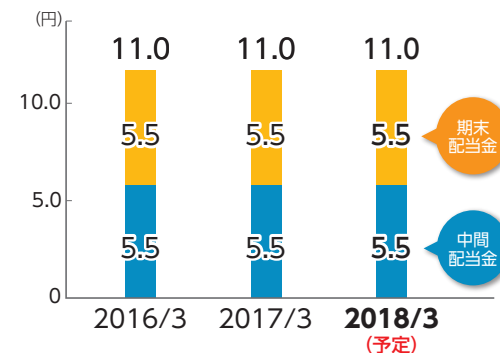
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

（第112期 注記）

- 1株当たり純資産額 1,095円16銭
- 1株当たり中間純利益 23円84銭
- 2017年9月末における単体と連結の総資産の差額は37億円と連結総資産4兆7,568億円の0.1%未満と軽微なため、単体のみ表示しています。

■ 年間配当金（1株当たり）

1株当たりの中間配当金は、当初計画通り、5円50銭としました。なお、2018年3月期の期末配当金は5円50銭（年間配当金11円）を予定しています。



■ 株主優待制度

日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待制度をご用意しています。



満期日前にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝日および12月31日～1月3日は除きます）

■ 個人投資家向け会社説明会

県内の個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより理解していただくことを目的に、証券会社の協力を得て「会社説明会」を開催しています。

株式の状況 (2017年9月30日現在)

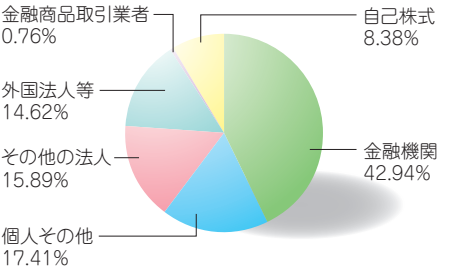
株式数
発行可能株式総数…………… 790,029千株
発行済株式の総数…………… 287,855千株
(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。
株主数…………… 14,308名

大株主 (2017年9月30日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,416	5.84
株式会社千葉銀行	12,213	4.63
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	11,357	4.30
三井住友海上火災保険株式会社	10,018	3.79
京葉銀行職員持株会	7,141	2.70
住友生命保険相互会社	7,122	2.70
明治安田生命保険相互会社	5,939	2.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,801	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	5,648	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	5,281	2.00

(注) 1. 上記のほか、当行所有の自己株式24,121,399株があります。
2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は自己株式(24,121,399株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式の分布状況 (2017年9月30日現在)



株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス http://www.keiyobank.co.jp) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区泉2丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)
(郵送物送付先) お問い合わせ先	

役員の状況 (2017年9月30日現在)

取締役		
取締役会長 (代表取締役)	取締役頭取 (代表取締役)	専務取締役 専務執行役員 (代表取締役)
小島 信夫	熊谷 俊行	橋本 清
取締役 常務執行役員		
大島 浩司	君塚 一郎	逆井 哲也
社外取締役		
齋藤 康	秋山 勝貞	内村 廣志

監査役

常勤監査役		
小澤 進	深山 正嗣	
社外監査役		
大塚 弘	小野 功	重田 雅行



県内のバリアフリー施設を千葉県が紹介する「ちばバリアフリーマップ」に当行の店舗が掲載されています。

千葉県健康福祉部「ちばバリアフリーマップ」 <http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbfmap/>